

2019年度 明治学院大学みなと区民大学

「日本近現代の作家と西洋」



日本の近代化の使命を帯びてヨーロッパに渡った漱石や鷗外の世代とは異なり、大正から昭和にかけて活躍することになる近現代の作家たちは、しばしば独学に近い形で語学を学び、書物を通じて西洋文明の新たな潮流を感じとろうとしました。本講座では、これらの作家たちが震災や思想統制などの歴史の荒波の中で、身を削る思いで異国の言語と格闘し、新たな言語表現、造形表現の可能性を切り開いていった過程を明らかにします。訳読や翻訳という作業は、彼らにとって自らの宗教観、芸術観にあえて揺さぶりをかけ、内なる日本的なもの、土俗的なものとの共存を探る手段でもありました。自ら言語教育、外国語教育に携わった経験をもつ講演者たちが、そのダイナミックで個性的な生の軌跡をわかりやすく紹介します。

受講料：2,500円（全6回）

会場：明治学院大学
白金キャンパス2号館 2301教室

企画：明治学院大学言語文化研究所
共催：公益財団法人
港区スポーツふれあい文化健康財団

2019年10月1日（火）～10月17日（木）全6回
18：45～20：15（初回と最終回のみ～20：30）

日付	講演テーマ	講演者
10/1（火）	大手拓次とボードレール	畠山達 （本学准教授）
10/3（木）	宮沢賢治の作品の なかのキリスト教	富山英俊 （本学教授）
10/8（火）	中上健次、または 伝聞形式による物語の享受	ジャック・レヴィ （本学教授）
10/10（木）	瀧口修造とシュルレアリスム －関東大震災から太平洋戦争まで－	巖谷國士 （本学名誉教授）
10/15（火）	翻訳は文学の栄養素 －谷崎潤一郎と井伏鱒二をめぐる－	野崎歓 （放送大学教授）
10/17（木）	芥川龍之介と精神分析	篠崎美生子 （本学教授）

問い合わせ・申込み先

明治学院大学 総合企画室社会連携課 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

TEL：03-5421-5247 FAX：03-5421-5387 E-mail：skoukai@mguad.meijigakuin.ac.jp

明治学院大学 みなと区民大学

